

【校長 上島 憲一】

## 人海戦術

～『みんなでやるのさ 一人の勝利なんて この世にはないんだよ』～ ワンピースより

『人海戦術』。本来は軍事戦略の一つで、多数の兵員を繰り返し投じて数の力によって敵軍を破る戦略を意味する物騒な言葉ですが、今では災害復旧やビジネス等様々な場で使われ、機械などを利用せず、多数の人員で物事にあたり成し遂げようとするやり方として広く使われている言葉です。

先日、自分の力の足りなさを自覚し、数の力を思い知る出来事があり、たった一人の力など同じ方向を向いたみんなの力の足下にも及ばないということであらためて目の当たりにしました。つまり、これが**集団の力の素晴らしさ**だと感心したのです。

それは、先日環境委員会の企画で実施された「草引き大会」でのことです。本校の運動場は、夏前から雑草が生え始め、子どもたちがいない夏休みにあれよあれよという間に運動場を埋め尽くすように雑草群が押し寄せてきていました。秋の運動会で熱戦を繰り広げるコース付近も一面の雑草地帯となってしまいました。「これは2学期が始めるまでに何とかせねば」と老化の進む頭をひねり夏休みの自由研究とばかりに『楽ちん草引き装置』を開発しました(図1, 2)。同僚の力も借りながら改良を重ね天候も見ながら何度か試行してみましたが、思ったほど‘楽ちん’にはなりませんでした。そのうちに2学期が始まり、私の自由研究は未完成のままに終わりました。

そして、前述の「草引き大会」です。2学期の始めに6年生が草引きをしてくれたことを機に、草引きの気運が高まり、

その日の昼休みは9月とはいえまだまだ暑い日ではあったにもかかわらず、委員会の子もたちの呼びかけに賛同した1年生から6年生までの子どもたち(中にはPTAの役員さんたちの姿も見られました)が、次々と運動場に集まり、草を引き始めました(図3, 4, 5)。結果はもちろん『楽ちん草引き装置』をあざ笑うかのような素晴らしい成果です(図6)。

仲間と一緒によりよいものをつくり出す素晴らしさを学ぶとともに、互いに友だちの良さに目を向け、仲間を大切にできる2学期にしてほしいと伝えたとおり、**みんなが同じ方向を向いて一致協力**

する経験が、子どもたちにとって、仲間を意識し、自分ひとりの力の足りなさをも自覚して受け入れ、知恵や力を貸してくれる友達の存在を知ることにつながればと思います。集団で生活している学校では、こういうことを大切にしなければなりません。



〈図1〉



〈図2〉



〈図3〉



〈図4〉



〈図5〉



事前



事後

〈図6〉

〈10月11月の主な学校行事 10/1 現在〉 今後変更になることもありますので各学年の通信等でお確かめください。

🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿🌿  
〈9月の様子〉 みんな頑張ってます

〈2学期初日〉



夏休みに頑張ったことを発表したり2学期のめあてや目標を確認したり…。



防災の日にあわせてシェイクアウト訓練に参加して命を守る行動を学びました。



〈出前授業〉

弁護士の先生による、いじめ問題を考える授業です。



〈授業研究会〉

提案クラスの授業を先生みんなで参観し、授業力向上のために意見交換をしました。



鈴木前校長にも来ていただきました。

〈保護者参観〉

廊下からでしたが、今年度初めての教室参観。ありがとうございました。



大津市スポーツランキングで、見事大津市1位や2位の成績を残しました。



〈よくがんばりました（スポラン・読書・自由研究）〉



発明工夫や観察記録など盛りだくさんです。とても価値ある取組ばかりです。



夏休みの読書表彰です。みんなたくさん読みました。目標の10冊完読を達成した子どもたちには校長賞を渡しました。50冊を超える子もいて、最高はなんと162冊でした。2学期もいろいろと読書企画が計画されています。